



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
 コード番号 4583 URL <http://www.chiome.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 美女平 在彦 TEL 03-6383-3746
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	142	△23.3	△932	—	△927	—	△927	—
29年12月期第3四半期	186	6.4	△574	—	△575	—	△574	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	△34.63	—
29年12月期第3四半期	△21.92	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	3,466	3,283	93.9
29年12月期	4,419	4,217	94.6

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 3,254百万円 29年12月期 4,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

当社は「創薬事業」「創薬支援事業」の2つを報告セグメントとしております。創薬事業においては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため、当社の業績予想は創薬支援事業の数値（売上高220百万円）のみ公表してあります。それに伴い、全社の業績予想についても記載していません。なお、直近に公表されている業績予想からの修正はありません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	26,781,500株	29年12月期	26,781,500株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	146株	29年12月期	146株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	26,781,354株	29年12月期3Q	26,215,625株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期会計期間より、新たな経営方針に基づき、医療のアンメットニーズに対する創薬事業と、抗体周辺分野の技術サービスを提供する創薬支援事業を展開しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における当社の事業活動の状況といたしましては、概況は次のとおりです。

創薬事業においては、当社が創製した抗セマフォリン3A抗体について、カナダのSemaThera社（以下「ST社」）と共同開発ライセンスおよび独占的オプション契約を締結いたしました。CBA-1205については、臨床試験開始を目指して準備を進めております。

創薬支援事業においては、中外製薬グループとの取引に加え、2018年5月に開始をいたしました小野薬品工業株式会社（以下「小野薬品」）との取引が順調に進んでおり、当社業務に対する評価を頂き、新たな契約締結に向けた交渉をいたしました。また、協和発酵キリン株式会社（以下「協和キリン」）に対しても継続してタンパク質精製サービスを提供しており、今後の売上の拡大のため、他の製薬会社への新規のタンパク質調製・抗体作製サービスの営業活動を継続しております。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は142,900千円（前年同四半期比43,509千円減少）、営業損失は932,267千円（前年同四半期は574,651千円の営業損失）、経常損失は927,702千円（前年同四半期は575,504千円の経常損失）、四半期純損失は927,396千円（前年同四半期は574,592千円の四半期純損失）となりました。

研究開発費について、当社は、従前の経営方針においては全ての保有資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していたことから、前事業年度においては研究開発費を各報告セグメントへ配分しておりませんでした。しかしながら、第1四半期会計期間より、新たな経営方針に基づき、各報告セグメントの業績をより適切に把握するため、従来、各報告セグメントに対応させていなかった全社費用の一部を、合理的な測定方法に基づき各報告セグメントに対応させております。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 創薬事業

創薬事業においては、ヒト化抗セマフォリン3A抗体について、2018年3月にST社と糖尿病黄斑浮腫および非眼科領域を含む糖尿病合併症等に対する治療薬及び診断薬の開発に関する共同開発ライセンス及び独占的オプション契約を締結し、オプション期間に対応するオプション料を受領しております。現在、本抗体はST社での評価が行われております。

2017年9月にスイスのADC Therapeutics社（以下「ADCT社」）にADC用途に限定して導出したLIV-1205については、ADCT社にて（開発コード：ADCT-701）2019年後半の治験計画届の提出とその後の臨床試験開始に向けて前臨床試験の最終段階に開発ステージが進められております。

自社で開発中のCBA-1205については、臨床開発に向けて原薬製造の委託先であるドイツのProBioGen社にて、独自の糖鎖改変技術を用いてADCC活性を高めた抗体産生細胞株の構築が完了し、今後の臨床試験に向けて処方検討を進めております。また、臨床開発の実施を担う臨床開発部を発足させ、試験計画の立案およびCROの選定などを進めております。

将来のパイプライン拡充に向けては、新規の創薬シーズに関わる研究開発に積極的に取り組み、当社のネットワークを駆使して外部機関へのコンタクトおよび情報収集を継続しております。また、前事業年度に引き続き当事業年度も、難治性がん、希少疾患ならびに指定難病における治療標的の確立に有用な研究テーマの公募・助成を行っております。その結果、国内の研究機関との創薬研究や当社の抗体作製技術や関連技術を用いた共同研究（2018年9月末現在で10件）などの研究開発を進めております。また、今後の導出や開発に向けて有望なデータが示唆された創薬シーズについては、優先的に資源配分の比率を高めるなど、早期の成果創出に向けた取り組みも行っております。

以上の結果、当該事業における当第3四半期累計期間の業績は、売上高2,015千円（前年同四半期比40,678千円減少）、研究開発費679,577千円（前年同四半期比358,189千円増加）、セグメント損失682,823千円（前年同四半期は280,370千円のセグメント損失）となりました。

② 創薬支援事業

創薬支援事業においては、中外製薬株式会社および同社の海外子会社であるChugai Pharmabody Research Pte. Ltd.との委託研究に関する契約に基づく取引が事業の中心となりました。

また、当社は、当第3四半期累計期間において小野薬品および協和キリンとそれぞれ取引にかかる売上を計上いたしました。この業務を通じて当社の研究機能に評価を頂いた結果、新たな契約を交渉いたしました。今後の継続的な取引にむけて取り組みを進めております。

また、国内外の大学、研究機関および企業に向けて、自社抗体作製技術であるADLib®システムやB cell cloning法等の抗体作製手法も用いた抗体作製サービスも提供いたしました。

以上の結果、当該事業における当第3四半期累計期間の業績は、売上高140,885千円(前年同四半期比2,830千円減少)、研究開発費5,960千円(前年同四半期比5,960千円増加)、セグメント利益70,301千円(前年同四半期比13,265千円減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は3,251,418千円となり、前事業年度末と比較して945,262千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は215,188千円となり、前事業年度末と比較して7,595千円減少いたしました。これは、減価償却費の計上による有形固定資産の減少と、費用計上による長期前払費用の減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は183,032千円となり、前事業年度末と比較して18,857千円減少いたしました。これは主に、支払いによる未払金の減少、納税による未払法人税の減少、研究用材料購入による買掛金の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は3,283,574千円となり、前事業年度末と比較して934,000千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月14日に発表いたしました平成30年12月期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,027,466	2,992,591
売掛金	43,722	45,074
たな卸資産	34,979	44,172
未収消費税等	31,923	28,771
その他	58,588	140,808
流動資産合計	4,196,681	3,251,418
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置	345,381	345,381
減価償却累計額	△330,266	△333,169
機械及び装置(純額)	15,115	12,211
工具、器具及び備品	107,520	107,520
減価償却累計額	△99,670	△102,028
工具、器具及び備品(純額)	7,850	5,491
有形固定資産合計	22,965	17,703
投資その他の資産		
投資有価証券	150,000	150,000
長期前払費用	2,333	—
敷金及び保証金	47,485	47,485
投資その他の資産合計	199,818	197,485
固定資産合計	222,783	215,188
資産合計	4,419,465	3,466,607

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,638	45,567
1年内返済予定の長期借入金	4,159	—
未払金	64,858	45,931
未払費用	20,748	20,289
未払法人税等	29,481	16,457
預り金	4,014	9,827
前受収益	—	441
賞与引当金	10,376	3,592
流動負債合計	161,276	142,107
固定負債		
資産除去債務	40,613	40,924
固定負債合計	40,613	40,924
負債合計	201,890	183,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,454,775	5,454,775
資本剰余金	5,444,775	5,444,775
利益剰余金	△6,717,328	△7,644,725
自己株式	△292	△292
株主資本合計	4,181,929	3,254,532
新株予約権	35,645	29,041
純資産合計	4,217,574	3,283,574
負債純資産合計	4,419,465	3,466,607

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	186,410	142,900
売上原価	61,827	69,885
売上総利益	124,583	73,015
販売費及び一般管理費		
研究開発費	321,388	685,537
その他	377,847	319,745
販売費及び一般管理費合計	699,235	1,005,282
営業損失(△)	△574,651	△932,267
営業外収益		
受取利息	41	42
為替差益	1,095	2,749
補助金収入	—	1,516
その他	418	255
営業外収益合計	1,555	4,564
営業外費用		
支払利息	170	—
株式交付費	1,894	—
その他	343	—
営業外費用合計	2,408	—
経常損失(△)	△575,504	△927,702
特別利益		
固定資産売却益	2,050	—
新株予約権戻入益	2,433	2,121
特別利益合計	4,483	2,121
特別損失		
固定資産売却損	1,755	—
特別損失合計	1,755	—
税引前四半期純損失(△)	△572,777	△925,581
法人税、住民税及び事業税	1,815	1,815
法人税等合計	1,815	1,815
四半期純損失(△)	△574,592	△927,396

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。